

第58回水産庁入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:令和4年9月30日)

開催日及び場所			令和4年6月21日(火)水産庁中央会議室			
委員			戸塚 輝夫(公認会計士)(委員長) 山中 健児(弁護士) 西村 絵美(水産大学校講師)			
審議対象期間			令和3年10月1日～令和3年12月31日			
審議対象案件			68件 うち、1者応札案件10件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件			
抽出案件			6件 うち、1者応札案件5件 (抽出率8. 8%) (抽出率83%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率0%)			
抽出案件内訳	工事	一般競争		該当なし		
		指名競争	公募型指名競争		該当なし	
			工事希望型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約		該当なし		
	業務	一般競争		該当なし		
		指名競争	公募型競争		該当なし	
			簡易公募型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約	公募型プロポーザル		該当なし	
			簡易公募型プロポーザル		該当なし	
			標準型プロポーザル		該当なし	
			その他の随意契約		該当なし	
	物品・役務等	一般競争		6件 うち、1者応札案件5件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
		指名競争		該当なし		
		随意契約(企画競争・公募)		該当なし		
		随意契約(その他)		該当なし		
	(特記事項)					
	特になし					

	意見・質問	回答等
	1. 令和3年度豪州における日本産サケ類の輸入解禁に向けた調査・分析委託事業のうちシロサケ調査 ・本事業(シロサケの病原体の有無を調査)に関して、契約相手は輸出促進協議会だが、研究機関に限らず、病原体の検査業務は請け負えるものなのか。 ・協議会のメンバーは北海道庁の職員が中心になっているのでしょうか。 2. 多目的ボール発射装置設置業務 (特になし) 3. 船用電光式情報表示装置の購入 (特になし) 4. 令和3年大臣許可漁業者の財務状況等の集計等業務 (特になし) 5. 令和3年度北海道赤潮対策緊急支援事業のうち漁場環境改善緊急対策事業のうち赤潮の発生メカニズムの解明等による発生予察手法の開発及び新たな赤潮原因プランクトンの水産生物に対する毒性の影響等の調査 ・緊急性がある中で、一者応札の改善策として公示期間を長く取るなど参入拡大のための改善は、現実には可能だったのか。 6. ドライコンテナの購入 (特になし)	・病原体自体を検査できる機関は数多くあるとは承知しているが、検体の調達とか、協議会単位で実施しないとなかなか難しいと聞いています。 ・北海道漁連、北海道大学とかが構成員となっています。 — — — ・事業の公募時期も北海道では赤潮が継続しており、速やかに契約できるようなスケジュールを組んでいたこともあり、この件に関しては難しかったと考えています。 —
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	
〔これらに対し部局長が講じた措置〕		
事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班		